



コスモスだより

独立行政法人 地域医療機能推進機構 天草中央総合病院

令和2年5月月発行
編集:天草中央総合病院広報委員会

100年前のスペイン風邪に学ぶ

院長 芳賀克夫

連日、新型コロナウイルス感染症がテレビを賑わせていますが、これほど世界中に被害をもたらした感染症は珍しいものです。実は、今から約100年前に、スペイン風邪と言われるインフルエンザの一種が世界的に流行し、多くの方が亡くなりました。人類は新しい病原体に曝されると脆いものです。今回の新型コロナウイルス感染症は恐らくそれ以来のパンデミックではないでしょうか。さて、今回の感染がいつまで続くのか、どのくらいの被害が出るのか分かりませんが、まずは100年前のパンデミックに学んでみましょう。

スペイン風邪の第一波は1918年の3月に第一次世界大戦中の米国とヨーロッパで始まります。この第一波は、感染性は高かったものの、特に致死性ではなかったそうです。しかし、その年の11月からフランス、シエラレオネ、米国で同時に始まった第二波は10倍の致死率となり、しかも15～35歳の健康な若年者層においてもっとも多くの死がみられました。これに引き続いて、冬である1919年の始めに第三波が起きました。WHOによると、最終的に患者数は世界人口の25-30%で、死亡者数は全世界で4,000万人とされています。日本では、1918年の11月と1920年の1月に大きな流行があり、約2300万人の感染者と約38万人の死亡者が出たと報告されています。スペイン風邪の多くの死亡は細菌の二次感染による肺炎によるものであったとされていますが、一方で、広範な出血を伴う一次性的ウイルス性肺炎を引き起こしていたことも分かっています。非常に重症でかつ短期間に死に至ったそうです。

スペイン風邪は、世界中に大きな被害をもたらしましたが、大きな被害を免れた国もありました。それはオーストラリアです。オーストラリアは、厳密な海港における検疫を行い、国境を事実上閉鎖することにより、国内侵入を約6ヶ月遅らせることに成功しました。その間、ウイルスはその病原性を失っていき、オーストラリアでは、流行の期間は長かったものの、より軽度の流行ですんだとされています。

皆様いかがだったでしょうか。100年前と今では、勿論政治状況や医療の水準が違ふと思います。しかし、有効な治療薬やワクチンが開発されなければ、数ヶ月でパンデミックは終わることはなさそうです。皆で息の長い対策を考えていきましょう。流行を遅らせ、長く対処することが肝要だと思います。

出典

1. 国立感染症研究所感染情報センター インフルエンザ・パンデミックに関するQ&A.
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/pandemic/QA02.html>
2. 東京都健康安全研究センター 日本におけるスペインかぜの精密分析.
<http://www.tokyo-eiken.go.jp/sage/sage2005/>



独立行政法人地域医療機能推進機構 天草中央総合病院

〒863-0033 熊本県天草市東町101番地

TEL 0969-22-0011 FAX 0969-24-2105

ホームページアドレス <http://amakusa.jcho.go.jp>

【新任医師のご紹介】

整形外科 木山 貴彦

この度4月より天草中央総合病院この整形外科に赴任しました木山貴彦と申します。中学生まではここ天草の地で夕日をみながら育ちました。その後は主に福岡大学病院で研修をつみました。専門は整形外科の中でも膝関節、股関節、スポーツ外傷です。天草は特に整形外科病院の数が少なく大変患者さんがお困りであるとお聞きました。これまで培った技術を生まれ育った地元の患者さん方に還元できることを大変嬉しく思っております。少しでも地域医療に貢献できるよう精進して参りますので、どうぞお気軽にお声かけください。



整形外科 西野 剛史

この度、令和2年4月1日付けで整形外科へ赴任しました、西野剛史と申します。私は福岡大学の所属で主に福岡県内の関連病院を転々として参りました。熊本県へは6年前に熊本市内の整形外科専門病院で1年間勤務しておりました。外傷を中心にここ数年は膝の変性疾患に対する骨切り術等の治療も行ってきました。天草の方々が健康に過ごせるよう微力ながらお力添えさせて頂きたいと思っております。若輩者ではございますが、どうぞよろしくお願いたします。



産婦人科 柴崎 聡

2020年4月より天草中央総合病院産婦人科に赴任しました、柴崎聡と申します。2016～2017年にも6か月間お世話になっており、今回3年ぶりに戻ってきたということになりますが、先生方は半数くらい、看護師の皆さんは8割くらいは同じ顔ぶれの印象で、とても懐かしく感じております。今回は単身赴任で、約10年ぶりの一人暮らしとなり、楽しみと不安が入り混じった思いでおりますが、増えがちな酒量をセーブしつつ、日々の診療に勤しみたいと思っております。



外科 藤川 和晃

今年度より天草中央総合病院外科に赴任しました、藤川和晃と申します。熊本市出身で、栃木県にある獨協医科大学を卒業し、地元へ戻り、熊本大学乳腺内分泌外科へ入局しました。外科専門医取得の一環で当院外科に勤務することになりました。

丁寧な診察を心がけ、地域の皆様のお力になれるよう努めていきます。よろしくお願致します。



放射線科 小林 直樹

4月より放射線科に赴任しました、小林直樹と申します。出身は東京都で、2017年に熊本大学医学部を卒業後、2019年に熊本大学画像診断・治療科に入局しました。趣味は読書と種々雑多な物事を独学すること（最近ではラテン語を勉強しています）です。

慣れないことも多くご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、天草地域のより良い医療に貢献できるよう努力して参ります。よろしくお願いたします。



「抗菌薬(抗生物質)適正使用は患者様、そして未来の子供達のため」

薬剤部 橋本 佑太

はじめまして、薬剤師の橋本と申します。“抗生物質”はバイ菌(正式には細菌)を退治する薬として皆様にも馴染みのある名称だと思いますが、ここでは“抗菌薬”と呼ばせていただきます。当院では、感染症治療を支援するチーム(医師、看護師、検査技師、薬剤師からなる感染症に精通したメンバー)を充足しており、主治医と協力しながら感染症の治療にあたっています。この活動の一環として、タイトルにもあります“抗菌薬適正使用”を同時に行っておりますが、抗菌薬を適正に使う理由は大きく分けて2つあります。

①患者様の治療をより良いものにする

1つ目の目的は“今”の問題を解決することです。感染症には様々なものがありますが、感染症治療は決して容易ではありません。その種類や重症度、患者背景(年齢、感染経路、服用薬など)等によって予想される原因菌は異なり、選択する抗菌薬も異なります。また抗菌薬は1つ1つ違う特徴を持ち(臓器移行性、代謝経路、“どの菌に効いてどの菌には効かない”といったことなど)、抗菌薬の選択に迷うケースが多々あります。そこで、こういった情報をメンバーや主治医と共有し、より良い治療を目指します。

②“薬剤耐性菌(耐性菌)”の発生を抑制する

2つ目の目的は“将来”の対策として行うものです。薬剤耐性菌とは、既存の抗菌薬が効かなくなった菌を指しますが、これまでの過剰な抗菌薬の使用、そして誤った抗菌薬の使用法により、自分達が皮膚・口・腸内に保有する“細菌”の耐性化が徐々に進んでいます。これら細菌による感染症(肺炎、尿路感染症、菌血症と呼ばれる重篤な疾患など)は抗菌薬が“まだ使える”現在でも多くの人の命を奪いますが、何も対策をせず、このままのペースで耐性菌が増え続ければ、2050年には耐性菌による死者が全世界で年間1000万人にまで膨れあがる…といった驚愕の報告がなされています。そこで、私達は耐性菌を極力作り出さないよう、正しい抗菌薬の使用法について院内外で教育や啓発活動を行っています。そしてこの問題を乗り越えるには、国民全員の協力が必要です。

(※詳しくは「AMR臨床リファンレンスセンター」を検索ください)



余談ですが、薬剤師に少しでも興味が湧いた方はドラマ「アンサング シンデレラ 病院薬剤師の処方箋」をご覧ください(新型コロナウイルスの影響で延期中ですが…)。“アンサング”とは「縁の下の力持ち」といった意味があるようですが、私も主演の石原さとみさんに負けないような“アンサング男子”を目指して、耐性菌対策を陰で支えていきたいと思っています。



2020年 外来診療担当表(5~6月)

受付時間: 午前8時30分~午前11時00分 (受付時間は診療科で多少異なります)

診療科		月	火	水	木	金
内科	新患・予約外担当	小松太陽		熊野御堂慧 受付時間: 9:30~11:30		
	内科				※早坂真一	※早坂真一
	呼吸器内科			金子篤志 小松太陽		金子篤志
	消化器内科				岩澤秀	岩澤秀
	腫瘍内科		熊野御堂慧 受付時間: 9:30~11:30		熊野御堂慧 受付時間: 9:30~11:30	
	血液内科		宮家宏定			大 学
	循環器内科				徳永信行(大学)	
	代謝内科	宮川展和(大学)				
	備考	火・木・金は予約・紹介の方のみとなります。※早坂医師は毎週ではありません。□				
外科	診察	坂本慶太	藤川和晃	坂本慶太	村上聖一	村上聖一
	乳腺・その他検査	竹口東一郎	坂本慶太	村上聖一		藤川和晃
	備考	木は予約の方のみとなります(新患はお受けできません)。木は乳腺・その他検査が出来ません。火(午後)・木(午前・午後)は手術です。				
整形外科		木山貴彦	木山貴彦	森 修	木山貴彦	木山貴彦
		西野剛史	西野剛史		西野剛史	西野剛史
脳神経外科		矢野辰志		矢野辰志	矢野辰志	
産科		荒木真佐子	吉村早織 柴崎聡	荒木真佐子	吉村早織 柴崎聡	荒木真佐子
婦人科		吉村早織 柴崎聡	荒木真佐子	吉村早織 柴崎聡	荒木真佐子	吉村早織 柴崎聡
放射線科		担当医	吉住和弘	小林直樹	小林直樹	担当医
						東家亮(大学) (治療放射線科医)
皮膚科		江頭翔			本多教稔(大学)	
歯科口腔外科		田中拓也	田中拓也	田中拓也	田中拓也	田中拓也
		合屋健	合屋健	合屋健	合屋健	合屋健
		午後は13:00~16:00の受付時間です。毎週水・木は午前中手術の為、午後からの診療です。				

◎火曜日、金曜日は予約・紹介の患者様のみの診察になります。

◎学会等により担当医師が変更になる場合や、休診となる場合がありますので御了承ください。

◎急患及び手術等で受付時間が変更になる場合がありますので御了承ください。